

パオちゃん's EYE

2025年3月1日 発行 No.96

近頃のセキレイ

白黒模様のセキレイを見かけたことがありますか。近頃は一年を通して公園、駐車場、田んぼや畑、用水路、川や池など、平地から山地まで森林以外のさまざまな場所で見かけるようになりました。それらのほとんどはハクセキレイという種類です。

ハクセキレイは、国内ではかつては北海道に夏鳥として渡来し繁殖していましたが、本州以南では冬鳥でした。1950年代以降から繁殖地の南下が始まり、1980年代には兵庫県や広島県まで達しました。1980年代、岡山県では繁殖は確認されていませんでしたが、それまでは冬鳥だったものが繁殖期にも観察されるようになっていました。岡山県内で初めて繁殖が確認されたのは1999年6月1日のことで、場所は倉敷市玉島沙美でした。沙美西浜海水浴場の駐車場のヤシの木に造られた巣でえさを運ぶ親鳥と4羽のひなが観察されました。

ハクセキレイはユーラシア大陸に広く分布しており、いくつもの亜種に分けられています。このうち日本に留鳥として分布しているのは亜種ハクセキレイです。日本ではホオジロハクセキレイ・シベリアハクセキレイ・タイワンハクセキレイなど、いくつかの亜種が少ない旅鳥または冬鳥または迷鳥として記録されています。

日本には白黒模様のセキレイとして別種のセグロセキレイが分布しています。春から夏の繁殖期に見られる白黒模様のセキレイといえばセグロセキレイでしたが、近頃ではほぼハクセキレイとなっています。かつては「あ！ハクセキレイだ！」と聞いていましたが、今では「あ！セグロセキレイだ！」というようになっています。



ハクセキレイ



セグロセキレイ

(写真提供：吉岡勉氏)

江田伸司(動物担当)

パオちゃん's EYEに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp



「パオちゃん's EYE」は
博物館ホームページ
でカラーで見られる
よ!

